



ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

2017—2018 年度 メネット事業通信

2017年8月10日 No.1 メネット事業主任 中道京子

《事業主題》 「生きる！希望を分かち合いながら」 “Live, sharing hope！”

《聖句》 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

メネット事業主査研修会・懇親会開催



7月1日(土) 13:00~16:30、メネット事業主査研修会が神戸 YMCA 三宮会館で開催されました。大野勉理事を始め、講師の方々、各部のメネット事業主査、メネット事業キャビネット、理事キャビネット、びわこ部部長・書記、京都部部長と阪和部・中西部・六甲部のワイズメン・メネットを合わせて43名の方々のご出席くださいました。

研修会の第1部は、お二人の方に講演をしていただきました。

まず、WACCA(わっか:women and children care center)代表の茂木美知子さんより、「WACCAの活動から見える貧困」と題した講

演を伺いしました。茂木さんは、特に、高校卒業の資格を持っていない女性たちの就労に向けた学習支援、女性のための相談・親子の交流、子どもたちが夢を実現できるような生き方を選ぶための学習支援やシングルマザーカフェなどの活動について話されました。

次に、フードバンク関西理事長の浅葉めぐみさんは、企業や個人から寄贈された食品を、児童支援施設やDVシェルターなどの福祉施設、WACCAのような民間団体、行政と協働して支援を必要とする人たち、そして子ども食堂などへ無償で提供する活動について話されました。

この二つの団体は、他の支援団体とも協働して、母子家庭を対象に物心両面の支援を行い、子どもたちの健全な成長を応援する「子ども元気ネットワーク関西」を立ち上げておられます。



それぞれが、困っている子どもたちや親に寄り添い、子どもたちを取り巻く環境がより良くなるように、互いに連携しながら、支援されています。

質疑応答では、活発な意見が交わされ、ワイズメンズクラブとしても、例えば、親子を招待して何か野外活動をする、家庭にある食品をフードバンクに寄贈するなど、何か協力出来ることがあることもわかりました。

第2部では、今期の国内プロジェクト事業について主任から説明を行い、各部の主査からは



自己紹介とこれからの計画などについて報告がありました。具体的に企画されている啓発活動事業や子どもの居場所づくりをしている団体などの情報を共有することができました。

研修後は場所を変えて、北野坂にあるジャズの老舗「ソネ」で懇親会をおこないました。ここには、六甲部部長や神戸クラブのメンたちも更に加わり、楽しい歓談の時を持ちました。

研修後は場所を変えて、北野坂にあるジャズの老舗「ソネ」で懇親会をおこないました。ここには、六甲部部長や神戸クラブのメンたちも更に加わり、楽しい歓談の時を持ちました。



参加者みなさまのお陰で、たくさんの学びと交流ができた主査研修会になりました。感謝を持ってご報告いたします。

神戸学園都市クラブ例会に参加して

7月20日(水)19:00~21:00、西神戸YMCAでの神戸学園都市クラブのキックオフ例会に参加いたしました。



まず、田辺征一新会長の挨拶から始まり、メネット主任より、今期のメネット事業活動について説明させていただきました。

その後、神戸YMCA職員の水野宏明さんから、神戸YMCAで行われている「子どもの学習支援」についてお話を伺いました。この活動において、神戸学園都市クラブのメネットの方もボランティアとして子どもたちの勉強を見てくださっています。さらに地域に根付いた活動になっていくことが期待されます。

水野さんがお話をまとめてくださいましたので、次のページをお読みください。

9月はメネット強調月間です。

各クラブでメネット例会を企画し、メネットの参加を促しましょう。

国内プロジェクトへの理解を深めましょう！



神戸 YMCA では “子どもの居場所づくり”の一環として 「子どもの学習支援」を行っています！

神戸 YMCA 職員 水野宏明

神戸 YMCA 福社会では 2016 年 8 月より①安心して安全な場所を提供する②家庭的養護の中で愛されているということを実感することを保障する、という 2 つの目的を持って“子どもの居場所づくり”の一環として学習支援を行っています。

当会は認定こども園と公立児童館を同一エリアで運営しているので、家庭の状況を把握しやすいということもあり調査したところ、児童館の学童保育クラブ登録者のうちの 19%、近隣にある公益財団法人神戸 YMCA の学童保育クラブ登録者のうちの 6%、あわせて 12%の児童がひとり親家庭でした。支援の対象を絞るか否か、対象を絞るなら何を基準にするのかということを検討しましたが、私たちはまずはその児童を対象に支援を行うことに決めました。対象者を絞って行っていますので、大々的に広報はせず、対象家庭の保護者に直接話をして実施することに決めました。

また、参加する児童が「参加したくない」と思わないよう、週 1 回のみ学童保育クラブが終わる 17 時から実施しています。児童から話を聞いていると“勉強会”という習い事をしているという感覚のようです。“勉強会”では参加児は宿題をメインに行っていますが、昨年度は楽しく自主的に学習に取り組んでほしいという願いを持って実施していましたので、こちらが用意したプリントテキストを 1 枚仕上げると 1 つのスタンプを押すという仕掛けを行いました。また、少人数で行っていますので“自分のために”大人が存在することを実感してほしいという願いもありましたので、音読の宿題もその場で実施してもよいことにしました。黙々と計算をしている児童の隣で、大きな声で音読をすることは不思議な光景かもしれませんが、音読を聞く大人はその児童ひとりのために存在します。そこから児童とボランティアの関係性がうまれていったようにも感じます。

学習支援の計画段階では、学習支援は地域の高校生・大学生に委ね、そのボランティアを指導するのは教員 OB 等のボランティアが担うことによって地域のボランティアを育成したい、保護者でも先生でもない身近な高校生や大学生と関わることによって大人のモデルを提示したいという思いがありましたが、平日の 17 時から実施ということで現在は学生ボランティアが関わっていない現状があります。

参加している児童や保護者からの聞き取りを行いながら、さらに展開していきたいと考えています。

各部メネットアワー開催予定

* 京都部

9月10日(日) 12:10~13:10

ウエスティン都ホテル京都

講演:「子どもの貧困の連鎖をなくす」

講師:茂木美知子氏(NPO 法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ、WACCA 代表)

* 阪和部

9月16日(土) 10:00~12:00 大阪南 YMCA

講演:「フードバンクと子ども食堂」

講師:浅葉めぐみ氏(NPO 法人フードバンク関西理事長)

* 六甲部

9月24日(日) 11:00~12:30

神戸 YMCA 三宮会館

学習と話し合い:「私たちのこれから『子どもたちの未来』」のビデオから「子どもの貧困」「ひとり親家庭」の問題点を学び話し合う

* 九州部

10月1日(日) 13:00

ホテルセントラーザ博多

「困難を抱える子ども達の将来を考える」シンポジウム

パネリスト:雪田千春氏(フードバンク福岡理事)、田口吾郎氏(いるかネット理事)

* 瀬戸山陰部

10月14日(土) 13:00~17:00

YMCA 米子医療福祉専門学校

講演:「子どもの貧困や虐待について学ぶ」

講師:安田壽朗氏(米子市要保護児童対策地域協議会会長) * 部会の中で講演

* 西中国部

10月28日(土) 11:00~12:30

エフピコ RIM ふくやま

「子ども食堂」を運営している方に講師を交渉中です。

* 中部

11月18日(土) 15:00~19日(日) 10:00

湯涌温泉「お宿やました」

講演:「バンザイ フードバンク」

講師:津田たまえ氏(フードバンク金沢・能登 事務局長)

* びわこ部

11月25日(土) 12:50~14:30

草津市立まちづくりセンター

講演:「子供の貧困・活動の実際」(仮)

講師:廣田敬史氏(NPO 法人こども Bits Unit 代表)

* 中西部

2月予定

大阪 YMCA

子どもの居場所づくりの講演会(仮)

